

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10の6	各家族ごとに連絡の仕方は聞いているが、訪問が困難な家族と意思の疎通が、十分に図れていない。	各家族、個々に合った対応をする。	遠方におられる方には、請求等の郵便物を送る際に、詳しく現状を知らせるようにする。	2ヶ月
2	6の5	鍵による心理的な圧迫感や、転落防止の為ベッド柵を使用している。	安全確保を他にも考え、できる限り開錠する。ベッド柵を外せる取り組みをする。	処遇やスタッフ会議等で現状を話し合い、少しずつ身体拘束をしないよう時系列で、記録し様子をみる。	3ヶ月
3	26の10	ケアプランが具体的な介護計画になってないところがある。	全員のケアプランを具体的に支援できるよう、計画をする。	モニタリングでスタッフがニーズを把握し、分かりやすい内容になるよう話し合う。	3ヶ月
4	35の13	災害時の際、地域住民や近隣の老人ホームとの協力関係を築けていない。	地域住民や近隣の老人ホームとの協力体制を作る。	地域が行う避難訓練の参加、逆に当苑が行う際に声掛けし近隣の老人ホームとも協力していく。	3ヶ月
5	4の3	運営推進会議を活かした取り組みができていない。	家族や地域の人に参加しやすい工夫をする。	事前に具体的なテーマを考え、積極的に幅広く声をかけていく。	5ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。